

授業科目名	NPO・NGO と国際社会	担当教員	中尾 公一
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 2 クォーター		
講義内容	<p>この講義では、国際社会が抱える課題に NGO が、我が国が直面する課題に対し NPO が、それぞれどのような役割を果たしているか紹介する。また NPO・NGO の経営の特徴や、芸術や観光を中心とした様々な分野の活動について、受講生が幅広く考える材料を提供する。</p> <p>この講義は講師が知識や情報を提供するだけでなく、受講生がその知識や情報についての理解を他の受講生と議論し、表現することを求める講義となる。たとえば各回の講義では講義内容を踏まえたグループの議論やその結果の書面報告を求める。また講義で得た知識と、自身が関心をもつ NPO・NGO に関する調査を関連づけ、グループ発表や個人レポートで表現することとなる。</p>		
到達目標	<p>受講生が、次の三点を達成することを目標とする。</p> <p>①NPO・NGO の基礎的な知識を身につけること。</p> <p>②現代の国内外の社会が抱える諸問題について理解すること。</p> <p>③NPO・NGO の基礎知識をもとに、国内外の社会課題の対応策を考え、論理的に議論できるようになること。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際社会とは何か・非営利組織とは何か（存在意義・理論・主な制度）</li> <li>2 国際社会の課題と NGO（開発・環境・人間の安全保障）</li> <li>3 二つの震災と非営利法人をとりまく制度</li> <li>4 非営利組織のマネジメント（ミッション・ガバナンス・人材マネジメント）</li> <li>5 非営利組織の財務マネジメント（ワーク「データベースを活用しよう」）</li> <li>6 非営利組織と協働／非営利組織を支える仕組／非営利組織の発展と限界</li> <li>7 ケース・スタディ：芸術文化関連の NPO／観光関連の NPO</li> <li>8 ケース・スタディ：保健・医療・福祉の NPO／子どもの健全育成の NPO</li> <li>9 学生発表準備（ワーク「NPO をつくってみよう」）</li> <li>10 グループ発表①</li> <li>11 グループ発表②</li> <li>12 まとめ（グループ発表と中間レポートへの講評）</li> </ol>		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に、各受講生が関心をもつ NPO・NGO について調べておくこと。</li> <li>・事後学習については「成績評価の基準」欄を参照すること。</li> </ul>		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・澤村 明他（2017）『はじめての NPO 論』 有斐閣ストゥディア</li> <li>・山田 満編著（2018）『新しい国際協力論』 明石書店</li> <li>・田尾 雅夫他（2004）『ボランティア・NPO の組織論』 学陽書房</li> </ul> <p>※ 必要に応じ、講義で資料を配布し参考文献を紹介する。</p>		
成績評価の基準	<p>次の三点の課題を通じて、到達目標の達成度・理解度を判定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループ・ワーク・ペーパー（GWP*）の内容及び講義への貢献**（50%） <ul style="list-style-type: none"> <li>*グループ討議の内容（各自の意見と討議の要約）と質問により構成される。</li> <li>**講義への貢献：質疑応答や他の受講生にもプラスになる言動を加点する。</li> </ul> </li> <li>2 グループ発表または中間レポート（35%）</li> </ol>		

	<p>関心をもつ NPO・NGO と講義内容とを関連づけたテーマの発表・レポート</p> <p>3 最終レポート (15%) NPO・NGO について最も学んだことなど。</p>
履修上の注意 履修要件	<p>上記の「成績評価の基準」に関し、補足説明をする。本講義の履修の是非や、「成績に対する確認書」の提出前に、以下の事項を再確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義出席は不可欠だが、それだけで単位付与や「成績評価の基準 1」の得点にはつながらない。GWP の提出と内容が伴って初めて加点される。</li> <li>・「成績評価の基準 2」に関し、成績評価は基準 1 と基準 3 を含めて行うので、グループ発表を行った学生同士が同一得点になることはほぼない。</li> <li>・「成績評価の基準 3」に関しては、講義内容の理解を問う。講義内容を踏まえていない最終レポートの評価を高くすることはない。</li> </ul>
実践的教育	該当しない。
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修学生数の多寡、ゲスト講師の確保などにより、講義の計画や内容が修正される可能性がある。</li> <li>・履修者が定員を超過した場合、履修登録期間中に下記の課題提出を求め、その内容をもって選考する。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>あなたは、この講義「NPO・NGO と国際社会」で、具体的にどのようなことを学びたいのか。200 文字以内で回答して下さい。</p>